

九州国際大学研究者情報

基本情報

所属	現代ビジネス 学部 地域経済学科	氏名	崔 錦 珍 Choi Keumjin
職名	教授	E-mail	choi@cb.kiu.ac.jp
		ホームページ	

■ 学歴・取得学位

(昭和 60 年)年 3 月	西京大学校日語日文学科入学
(平成 1 年)年 2 月	西京大学校日語日文学科卒業 文学士
(平成 3 年)年 9 月	慶熙大学校経営大学院観光経営学入学
(平成 6 年)年 2 月	慶熙大学校経営大学院観光経営学科修了 経済学修士
(平成 10 年)年 3 月	漢陽大学校大学院観光学科博士課程後期課程入学
(平成 13 年)年 2 月	漢陽大学校大学院観光学科博士課程後期課程 単位取得後退学
(平成 15 年)年 4 月	立教大学観光学研究科博士課程後期課程入学
(平成 19 年)年 3 月	立教大学観光学研究科博士課程後期課程修了 観光学博士

■ 主な職歴

(昭和 63)年 12 月～(平成 5)年 4 月	南ソウルホテル(現 The Ritz-Carlton, Seoul)営業部 営業部平社員
(平成 20)年 2 月～ (平成 21)年 3 月	立教大学プログラムコーディネーター・兼任講師
(平成 21)年 4 月～ (平成 24)年 3 月	神戸国際大学経済学部専任教員(准教授)
(平成 24)年 4 月～ 現在に至る	九州国際大学現代ビジネス学部専任教員(教授)

教育活動

■ 主な担当授業科目

○ 学 部：観光マーケティング論、観光概論、ホテル・マネジメント論、
専門演習、卒業プロジェクト

○ 大学院：

■ 教育上の特記事項

○ 教科書・教材：

○ 教育活動：

○ 免許・資格：

研究活動

■ 研究分野

研究分野	観光学（人材管理、サービスマーケティング）
主な研究テーマ	ホテル業における感情労働、ホテル業の人材管理
キーワード	感情不調和、人的サービス、ハイエンドサービス

■ 主な著書・論文等

著書

- （共訳）『質的研究方法』（翻訳書：韓国語）ハンウルアカデミー，2009年3月．A5判 535頁，担当部分：3章テキストの構成と理解（70-88p） 8章半構造インタビュー（147-182p） 15章コーディングとカテゴリ化（312-346p） 17章テキスト会釈の概要（373-381p） 21章質的研究と量的研究（456-470p）．
- （共著）『観光学経営』 岡本伸之編著 朝倉書店 2013年10月 A5判 208頁，担当部分：13.4 / 13.5（156-163p）

論文

- （単）「感情労働がホテル従業員の職務態度に及ぼす影響」立教大学博士学位論文、2007年3月．
- （単）「ホテル従業員の感情不調和が職務態度に及ぼす影響」（査読付）『日本国際観光学会論文集』 第14巻，27-33頁，2007年3月
- （単）「日本のホテル従業員の感情不調和の発生原因に関する研究（韓国語）（査読付）」『韓国日本近代学会論文集』，第17巻，235-254頁，2007年8月．
- （単）「接客場面でのストレス対処法が感情消耗に及ぼす影響 -日大のホテルの接客従業員を中心に-」（査読付）『Ceri エンタテインメント研究論文集』（韓国） 第8巻，111-135頁，2007年12月．
- （共）「日本のホテル業における正規・非正規社員の職務意識に対する比較」（査読付）『観光・レージャ研究（韓国）』第20巻3号，319-338頁，2008年8月．
- （共）「感情労働のプロセスおよび影響要因に関する研究」（査読付）『観光研究（韓国大韓観光経営学会）』第23巻4号，199-218頁，2009年2月．
- （共）「組織のサービス志向性がホテル従業員の感情消耗に及ぼす影響」（査読付）『日本国際観光学会論文集』第18巻，33-39頁，2011年3月．
- （共）「サブカルチャーによる文化産業クラスターの観光地化」（査読付）『観光・レージャ研究（韓国）』第24巻2号，385-404頁，2012年2月．
- （共）「世界の7大自然景観 選定の意義と課題」（査読付）『東北亜観光研究（韓国）』第8巻4号，1-28頁，2012年11月．
- （共）「CIT を利用したツアーコンダクターの感情労働の要因に関する考察」

- (査読付)『東北亜観光研究(韓国)』第9巻2号, 203-223頁, 2013年5月.
- (共)「「ツアーコンダクター」の感情労働が職務態度に及ぼす影響」(査読付)『観光研究(韓国大韓観光経営学会)』第28巻4号, 47-65頁, 2013年10月.
 - (共)「日本観光客の熟知性と釜山の観光イメージ研究」『平和学研究(韓国)』(韓国平和研究学会)(査読付) 第15巻1号, 214-260頁, 2014年3月.
 - (共)「九州の観光イメージと親密性に関する研究—プサンの大学生を中心として」(査読付)『東北亜観光研究(韓国)』第10巻3号, 271-293頁. 2014年8月.
 - (共)「ドラマ『アイリス』秋田ロケによるフィルムツーリズムの発生とその構造」(査読付)『観光研究(日本観光研究学会)』第27巻1号, pp. 79-89頁, 2015年9月.
 - (共)「大阪の観光イメージ調査分析」(査読付)『東北亜観光研究(韓国)』第11巻4号, 257-275頁, 2015年11月.
 - (共)「新型コロナウイルス感染症に対する知覚リスクが旅行行動に与える影響」(査読付)『東北亜観光研究(韓国)』第17巻54号, 251-272頁, 2021年8月.
 - (共)「祭りのサービス品質が参加者満足度と行動意図に及ぼす影響」(査読付)『日本近代学研究』第87輯, pp.315-335頁, 2025年2月.

学会発表

- (単)「感情労働がホテル従業員の職務態度に及ぼす影響(韓国語)」『韓国日本近代学会第15回国際学術大会発表論文集』, 311-321頁, 2007年5月.
- (共)「秋田県の観光地における「アイリス効果」とは?」『日本観光研究学会全国大会研究発表論文集』, 27号, 313-316頁, 2012年12月.
※平成24年度科学研究費助成事業 基盤C課題番号24611020に基づく研究発表
- (共)「관광자 행동과 영상미디어의 영향 -드라마 아이리스를 중심으로-」(観光者の行動と映像メディアの影響-ドラマ「アイリス」を中心として)
Northeast Asia Tourism Conference in Kitakyushu City, pp. 49-53, 2014年8月.
※平成24年度科学研究費助成事業 基盤C課題番号24611020に基づく研究発表
- (共)「관광자 행동과 영상미디어의 영향 -드라마 아이리스를 중심으로-」(観光者の行動と映像メディアの影響-ドラマ「アイリス」を中心として)(韓国語)『Northeast Asia Tourism Conference in Kitakyushu City』, 49-53項, 2014年8月.
※平成24年度科学研究費助成事業 基盤C課題番号24611020に基づく研究発表.
- (共)「大阪の観光イメージ調査分析—韓国人を中心に—」『2015 International Tourism Conference in Ulaanbaatar 9th TINA, Tourism Institute of Northeast Asia Proceeding』, 30-35頁, 2015年8月.
- (共)「「フィルムツーリズム」における韓国旅行の不満事項」『日本国際観光学会第19回全国大会発表論文集』34-35頁, 2015年10月.
※この研究はJSPS科研費15K01963の助成を受けたものである.
- (共)「「ファンツーリズム」の実態—アイドルファンへの聞き取り調査から—」『第30回日本観光研究学会全国大会学術論文集』281-284頁, 2015年11月.
※この研究はJSPS科研費15K01963の助成を受けたものである.

- (共)「ファン行動の発展段階とファンツーリズム」第 31 回日本観光研究学会全国大会学術論文集, 273-276 項, 2016 年 12 月.
※この研究は JSPS 科研費 15K01963 の助成を受けたものである.
- (共)「ファンツーリズムにおけるコミュニケーション —宮城県利府町での大規模コンサートを事例として—」第 31 回日本観光研究学会全国大会学術論文集, 473-476 項, 2016 年 12 月.
※この研究は JSPS 科研費 15K01963 の助成を受けたものである.
- (共)「ファンとファンツーリズム受入地域の相互作用 —アイドルグループのメガコンサートを事例として —」第 16 回ホスピタリティ教育学会全国大会発表集, 3-6 項, 2017 年 2 月.
※この研究は JSPS 科研費 15K01963 の助成を受けたものである.
- (共)「ファンツーリズムと外国人ファンの行動分析」International Conference by Tourism Institute of Northeast Asia, Vladivostok, Russia, 41-46 頁, 2017 年 5 月.
- (共)「ファンの宿泊を伴う『遠征』行動とファンツーリズム」第 32 回日本観光研究学会全国大会学術論文集, 121-124 頁, 2017 年 12 月.
- (共)「일본숙박시설의 업무환경에 관한 고찰(日本宿泊施設の業務環境に関する考察)」第 93 回韓国観光学会仁川国際学術大会発表集, 207-211 頁, 2023 年 2 月.
- (共)「숙박산업에 있어서 인적서비스 가치에 관한 고찰 (宿泊産業における人的サービス価値に関する考察)」第 95 回韓国観光学会 慶南・統榮国際学術大会発表集, 71-74 頁, 2024 年 2 月.
- (共)「숙박산업에 있어서 인적서비스와 디지털 서비스의 융합가치에 관한 고찰 (宿泊産業における人的サービスとデジタルサービスの融合価値に関する考察)」第 97 回韓国観光学会ソウル国際学術大会発表集, 63-67 項, 2025 年 1 月

その他

[研究ノート]

- (共)「Who Are the Tourists Motivated by the Korean Drama “IRIS” ?」(査読付)『立教大学観光学紀要』第 16 号, 132-135 頁, 2014 年 3 月.
- (共)「日本におけるロケ地めぐり観光研究の動向と用語の整理」(査読付)『立教大学観光学紀要』第 17 号, 45-51 頁, 2015 年 3 月.
- (共)「日本におけるファンツーリズム行動研究の動向」(査読付)『立教大学観光学部紀要』第 18 号, 1-9 頁, 2016 年 3 月.
- (共)「ファンツーリズムの基本的構造 —アイドルファンへの聞き取り調査から—」(査読付)『立教大学観光学紀要』第 20 号, 123-131 頁, 2018 年 3 月.
- (単)「オーバーツーリズムの発生と持続可能な観光発展の課題」『九州国際大学国際・経済論集』第 5 号, 193-206 頁, 2020 年 3 月.

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

--	--

■ 主な所属学会

日本観光研究学会、日本国際観光学会、동북아관광학회東北亜観光学会 (韓国)

■ 受賞等

()年 月	
--------	--

■ 研究助成金による研究

○ 科学研究費補助金 基礎研究(C) 分担研究者 課題番号 15K01963 2015年度～2017年度

社会における活動等

○ ○ ○

大学運営活動等

○ 現代ビジネス学会編集委員 ○
